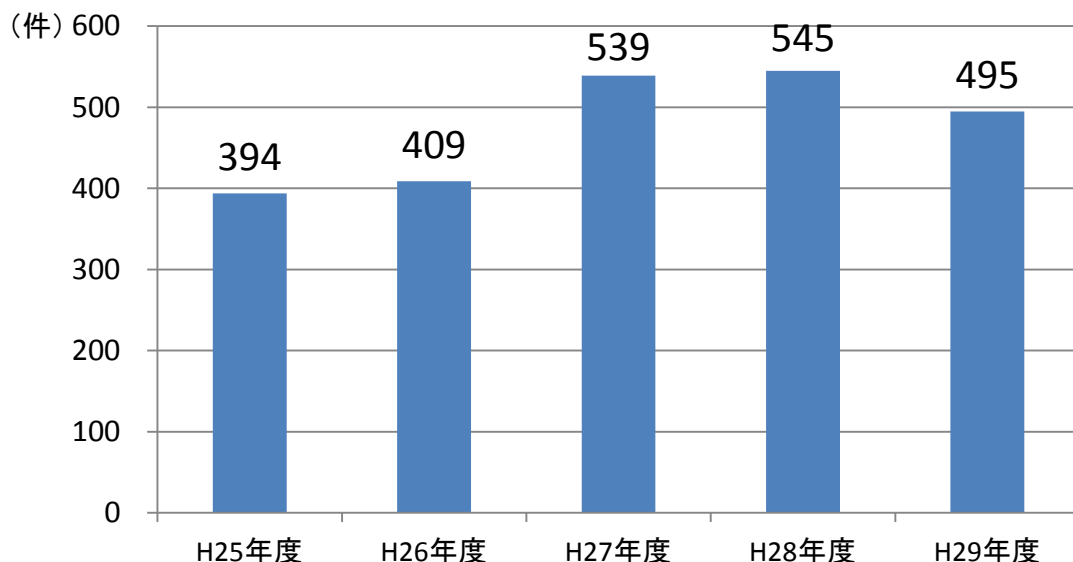


重症入院患者の手術全身麻酔件数

■ 解説 : process指標

心不全という疾患をもつ患者さんなど、重症な患者さんの手術を行うことも国立大学附属病院の社会的責任の一つです。重症な患者さんに全身麻酔手術する場合は、生命の危険を含む様々な危険が伴います。従って、手術中に限らず手術前後で十分に患者を観察し、慎重な麻酔を行える体制が必要です。この指標は麻酔管理の難しい重症患者の手術ができる麻酔能力の高さとも考えられます。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

重症入院患者さんの全身麻酔件数は、前年度よりも減少しましたが、国立大学病院では上位の件数です。

これは、本院が高度医療を担っている指標のひとつであるといえます。

引き続き、高度医療を担う特定機能病院として地域貢献に努めます。

■ 定義

医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数です。

■ 算式

レセプト算定数。

■ 平成29年度国立大学病院報告書:100床換算;中央値71.13、当院86.99

